

森から学ぶESD (持続可能な開発のための教育)の実践

〒113-0033
東京都文京区本郷1-34-3
電話:03-5805-2561
E-mail:info@scout.or.jp
https://www.scout.or.jp



ひろげる助成

3年目

実践



みんなで協力してカベを乗り越える!

日帰り環境教育プログラム
参加者数

449人

滞在型環境教育プログラム
参加者数

18人

今年度計画の達成度

90%

活動の全体目標に対する達成度

97%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

小学校の授業の一環として自然体験教室を実施したため、実施日が平日となり、平日に多くの大学生年代のボランティアスタッフを集めることに苦労した。

■ 工夫した点

自然体験教室の実施前に、青少年団体等と協働して、各団体の若手指導者を対象とした2泊3日のトレーニングキャンプを実施し、助成活動のスタッフになっていただいた。

課題

自然に触れる機会が減少し、特に青少年の自然体験活動の減少は著しい状況にある。過疎が進む中、地域の行政と市民が協力して取り組むESD実践モデルが必要とされている。

目標

自然体験活動を提供して、参加者が活動を通じて、環境を大切にすることをもち、環境保全の行動ができるようになる。

活動内容と成果

茨城県高萩市内の全小学校4年生と6年生を対象とした環境教育プログラムである「しぜんとあそぼデイキャンプ」を計8回実施し、449人の児童が参加した。また、人を育てるキャンプに携わるYMCA、東京YWCA、ガールスカウト日本連盟、日本キャンプ協会と連携して、スタッフのトレーニングを兼ねた2泊3日のキャンプを実施し、5団体から18人が参加した。特に、小学生対象事業では、各種アンケート結果から、参加児童の97%が環境保全のための行動を知り、子どもたちの「生きる力」の向上に効果があったことがわかった。



さあ!自然探求の森へ出発だ!!

全助成期間の活動を振り返って

助成活動の1つである高萩市内の小学生を対象とした「しぜんとあそぼデイキャンプ」は、1年目は4回で231人、2年目は6回で318人、3年目は8回で449人と着実に参加者を増やし、市内の一定学年全員が、「高萩スカウトフィールド」で体験活動をしたことになり、この場所を周知することができた。また、「環境を保全する行動ができるようになった」と97%の児童が回答し、所期の目標を達成することができた。



自然を知り、自然を学ぶ!

今後の展望

これまで3年間の助成活動で培ったノウハウを生かして、次年度は、高萩スカウトフィールドの所在地である茨城県から委託を受けて、自然体験活動指導者養成と子どもを対象とした自然体験活動事業を実施展開していく予定。また、今後は、これまでのプログラムをフィールドの常設プログラムとして提供し、参加者が活動を通じて、環境を大切にすることをもち、環境保全の行動ができるように事業を実施していく。